

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	泉北ニュータウン居住魅力向上事業			シート番号	019-107
担当部署名	建設局	局	ニュータウン地域再生室	部	課 評価責任者(課長名)
					池田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	泉北ニュータウンの再生	有
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	泉北ニュータウン再生指針(本市策定)、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン(泉北ニュータウン再生府市等連携協議会策定)、泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画(同協議会策定)			
5	事業実施の経緯	泉北ニュータウンは、昭和42年のまちびらきから50年以上が経過し、緑豊かな住環境を有するまちとして成長してきたが、社会環境の変化とともに人口の減少、少子・高齢化の進展、住宅や公共施設の老朽化など、様々な課題も現れている。また、泉北ニュータウンの魅力をもっと発信していきたいとの意見もある。 このため、泉北ニュータウンに移り住む人や住み続けたいと思う人を増やすために、泉北ニュータウンの魅力を広げ発信し、居住魅力の向上を図る取組を行っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	泉北ニュータウンに関わる市民、自治会、NPO、事業者、教育機関など		
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	泉北ニュータウンの居住魅力の向上を図るとともに、泉北ニュータウンの魅力を広げ発信することで、泉北ニュータウンに住んでみたい若年層を中心とした人を増やしていく。		
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①職住一致・近接のライフスタイルの促進 泉北ニュータウンでの職住一致・近接のライフスタイルを訴求するためのセミナー等の開催。 ②若年層向け泉北ニュータウンプロモーション事業 若年層をターゲットにしたデザイン性の高いWEBサイト「PORTAL SENBOKU」を作成し、泉北ニュータウンの魅力を発信するとともに、移住者・交流者増加に向けて事業を進めていく。 ③旧高倉台西小学校の活用の取組 平成31年3月に同校を活用する学校法人と基本協定を締結した。 校舎建設等を行い、令和4年から事業実施できるよう学校法人、地元等と調整していく。 ④旧泉北すえむら資料館の活用の取組 平成31年3月に同資料館を含む大連公園の利活用について、Park-PFI手法により活用事業者候補者を選定した。 令和元年度夏ごろに基本協定を締結し、秋以降の事業開始に向けて活用事業者等と調整していく。 ⑤泉北をつむぐまちとわたりプロジェクト 泉北ニュータウンの魅力を住民自らが発信し、泉北ニュータウン内外に発信する企画を支援する。		
10	直接実施以外の主な支出先	WEBサイト作成支援業者、施設維持管理業者等			

Ⅲ. 投入量

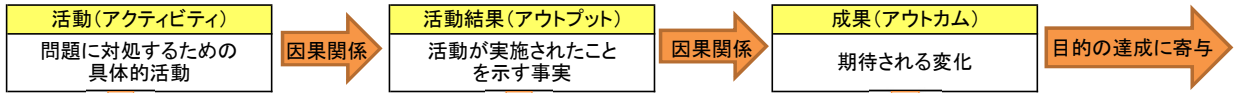
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	19,780	17,921	33,675	16,830	31,111	38,242	20,158	
	主な事業費内訳	泉北NT魅力発信事業・職住一致近接ライフスタイル促進事業	千円	4,643	1,859	348	60	742	107	782
		泉北NTまちびらき50周年事業	千円	4,000	3,983	-	-	-	-	-
		旧高倉台西小学校・旧泉北すえむら資料館活用事業	千円	11,137	12,079	30,196	13,597	6,126	8,823	-
		若年層向け泉北ニュータウンプロモーション支援事業	千円	-	-	3,131	3,173	3,131	4,312	4,881
		大連公園P-PFI事業	千円	-	-	-	-	16,000	25,000	9,500
		泉北ニュータウン再生指針改訂	千円	-	-	-	-	5,112	0	4,995
	財源内訳	国・府支出金	千円	-	-	1,500	1,500	-	-	-
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	-	-	-	-	-	-	-
		市債	千円	-	-	-	-	-	-	-
		その他(基金)	千円	-	-	-	-	-	-	2,500
	一般財源	千円	19,780	17,921	32,175	15,330	31,111	38,242	17,658	
12	人件費 (b)	千円	24,600	24,600	24,600	24,600	24,300	24,300	24,600	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	44,380	42,521	58,275	41,430	55,411	62,542	44,758	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	泉北ニュータウン居住魅力向上事業	シート番号	019-107
-------	------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績					
活動実績と成果	14	<p>職住一致・近接のライフスタイルの促進に資する「職住一致の暮らし」や「起業体験」等について学べるセミナー、実践者の家などを巡る見学会を2回開催した。参加者の満足度ははかるアンケートでは参加満足度96%の回答があった。 若年層向け泉北ニュータウンプロモーション事業については、平成30年12月末に、若年層をターゲットとしたWEBサイトである「PORTAL SENBOKU」を立上げ、令和2年3月末までに、29,056回の閲覧があった。又、他地域における移住希望者向けプロモーション活動として、横浜でトークセッションを実施した。 地域魅力を創出・発信する「泉北をつむぐまちとわたくしプロジェクト」の参加者数は前年度に比べ10人、取組活動数は2組増加するとともに、活動費についても、市の補助金等に頼らず、参加者による自主的な運営で実施しており、本市は助言等の支援を行っている。 旧高倉台小学校の活用については、平成31年3月に学校法人みどり学園と基本協定を締結しており、令和元年6月にみどり学園から事業内容について、地元自治会役員に対し説明を行った。同12月には配置計画を示した上で、令和2年2月に事業内容について地域全体の説明会を行った。 大連公園及び旧泉北すえむら資料館のP-PFI手法による活用については、令和元年7月に南海不動産をはじめとする管理団体と基本協定を締結した。その後、令和2年度の開業に向けて施設の改装工事等を進めている。</p>					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		「PORTAL SENBOKU」サイト閲覧の回数	回	目標値 -	10,000	23,000	40,000
				実績値 -	11,786	29,056	
				達成率 -	118%	126%	
				評価 -	良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など	プロモーションサイトのアクセス解析数による				
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		39歳以下人口比率(各年12月末) (社会情勢から減少は避けられないが、推計値より減少を抑える)	%	目標値 36	35	34	34
				実績値 33	32	32	
			達成率 94%	93%	94%		
			評価 普通	普通	普通		
	算出方法・設定根拠など	推計では39歳以下の人口比率は毎年減少し、令和2年末には30.5%まで減少する見込みであるが、令和2年末で推計値の1割アップの比率34.0%を目標とする(マスタープラン目標)					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	「PORTAL SENBOKU」サイト閲覧の回数	回		11,786	29,056	
	②	上記①にかかる年間経費	千円		7,273	8,362	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		617	288	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<p>職住一致・近接のライフスタイルの促進では、講師と何度も打ち合わせを行い、参加者が求める内容を進行に組み込んだことで、参加者の満足度96%を得られたと認識している。 「泉北をつむぐまちとわたくしプロジェクト」において、市の補助金に頼らず市民協働で魅力発信を行うなど、住民や事業者等と連携し、泉北ニュータウンの魅力を発信することができたと考えている。 39歳以下人口比率については、府営住宅の建替事業や集約事業に伴う入居停止なども一要因となっている状況下で、目標に達することができなかった。 しかしながら、泉北ニュータウンを含めた南区においては、人口減少傾向にあるものの、0歳から9歳の年齢階層の転出入の人数については、平成29年は53人、平成30年は133人、令和元年は81人の転入超過に転じている。 このことは、泉北ニュータウンへの若年層定住促進に向けた取組の成果が現れ始めていると認識している。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	泉北ニュータウン居住魅力向上事業	シート番号	019-107
-------	------------------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 泉北ニュータウンに移り住む人や住み続けたいと思う人を増やすために、泉北ニュータウンの魅力を広げ発信し、居住魅力の向上を図る取組であり、継続した実施が効果的であるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 居住者増加へ向けた取り組みであるため税収増につながる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 「泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト」においては、住民自らが事業の企画・運営を実施している。また、「PORTAL SENBOKU」についても、泉北ニュータウンの魅力の発信についてサイト管理を外部委託して行っているが、今後は「泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト」と同じく、住民自らでサイトの運営を行っていきよう取り組んでいく。職住一致・近接のライフスタイルの促進事業では、イベントのオンライン活用や安価で借りれる会場を検討することでコスト縮減を進める。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 「旧泉北すえむら資料館の活用」「泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト」においては、市民が集う事業であるため、国が示すガイドラインに沿ってコロナ対策を徹底し、これに沿った運営をする必要はある。その他事業については、必要ない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 「PORTAL SENBOKU」では、住民自らが事業の企画・運営を実施し、市がアドバイザーとして参加する体制を構築する。職住一致・近接のライフスタイルの促進事業では、オンラインを活用したセミナーやワークショップを開催するよう検討を進める。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 「PORTAL SENBOKU」について、サイトの運営手法など事業者及び住民らと意見交換を行い、市の支出がなくても運営できるような体制づくりを行っていく。職住一致・近接のライフスタイルの促進事業では、イベントを通じて実施者を紹介することで泉北ニュータウンの居住魅力を高めることができるため本事業は引き続き継続していくが、イベントの形式に工夫を加え感染症予防対策・コスト縮減も意識しながら開催していく。		